



T&K TOKA®

東証1部 4636



2022年3月期 第2四半期決算説明資料



株式会社T&K TOKA

T&K TOKA CO., LTD.

2021年11月16日

T&K TOKAについて

本社・埼玉事業所



T&K
↓

Technology & Kindness
(技術とまごころ)

経営理念である
「独自のテクノロジー」で
「お客様にとって真によいもの」
を提供し、社会に貢献する
を表しています。

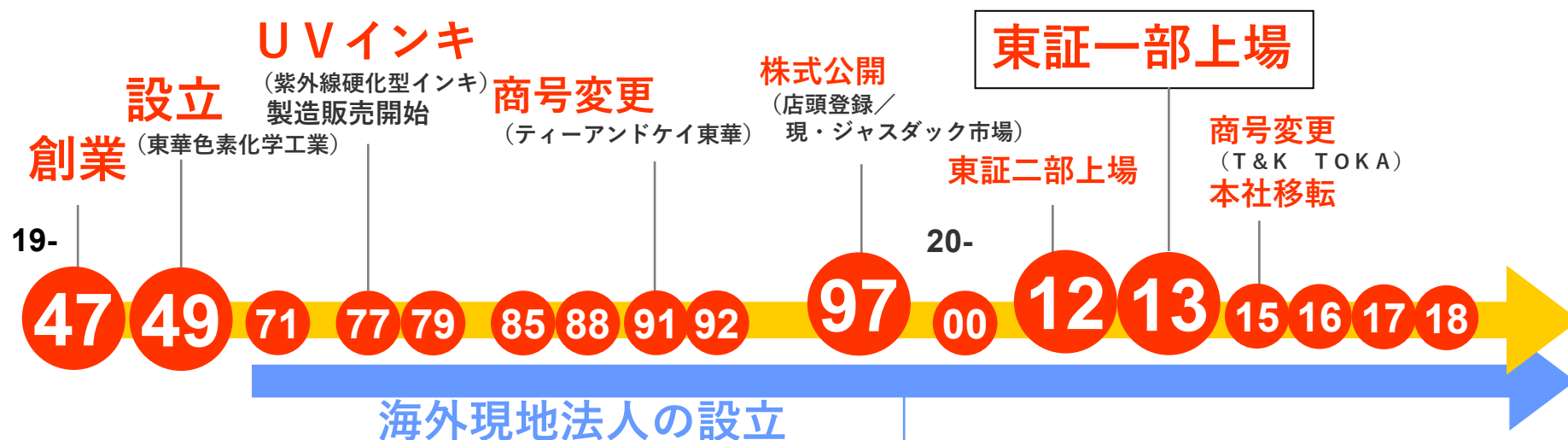
TOKA
↓

東京  中華

創業者は戦前、
中国でインキ業に携わっていました。

帰国後、
中国との架け橋になりたい
との思いから、名付けられました。

沿革



【1971年】	インドネシア	【2016年】	タイ
【1979年】	韓国	【2017年】	オランダ
【1985年】	香港	【2017年】	アメリカ・ニューヨーク
(香港には1969年より支店開設)		【2018年】	中国・浙江省嘉興
【1988年】	中国・浙江省杭州	【2018年】	アメリカ・イリノイ
【1992年】	バングラデシュ		
【2000年】	サウジアラビア		

2022年3月期 第2四半期の実績(前期比較)

▶ 連結損益計算書 (百万円)

	20.3期2Q	21.3期2Q	22.3期2Q	増減額	増減率
売上高	23,856	20,295	21,648	1,353	6.7%
売上総利益	4,387	3,545	4,205	659	18.6%
	(18.4%)	(17.5%)	(19.4%)	(1.9%)	
営業利益又は 営業損失(▲)	341	▲264	314	578	-
	(1.4%)	-	(1.5%)	-	
経常利益又は 経常損失(▲)	541	▲8	1,057	1,065	-
	(2.3%)	-	(4.9%)	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 四半期純損失(▲)	380	▲15	1,683	1,698	-
	(1.6%)	-	(7.8%)	-	

▶ 連結売上高の版別内訳 (百万円)

	20.3期2Q	21.3期2Q	22.3期2Q	増減額	増減率
UVインキ	10,137	8,831	10,063	1,231	13.9%
平版インキ	5,641	3,630	3,909	279	7.7%
その他インキ	3,604	3,752	3,368	▲383	▲10.2%
その他	1,675	1,405	1,758	352	25.1%
製品計	21,059	17,619	19,099	1,480	8.4%
商品	2,796	2,676	2,549	▲126	▲4.7%
売上高合計	23,856	20,295	21,648	1,353	6.7%

2022年3月期 第2四半期の実績と成果

2022年3月期 第2四半期の実績

(百万円)	22.3期2Q	21.3期2Q比		
売上高	21,648	+1,353	+6.7%	商業印刷に改善の動き パッケージ印刷については内需向け食品や医薬品関連 の需要を中心に堅調に推移
営業利益(※1)	314	+578	-	増収効果等による利益増加
経常利益(※2)	1,057	+1,065	-	持分法による投資利益295百万円(前期は285百万円) 為替差益344百万円(前期は為替差損69百万円)
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (※3)	1,683	+1,698	-	有形固定資産売却益 664百万円(うち香港で662百万円) Van Sonオランダ 事業整理損 180百万円

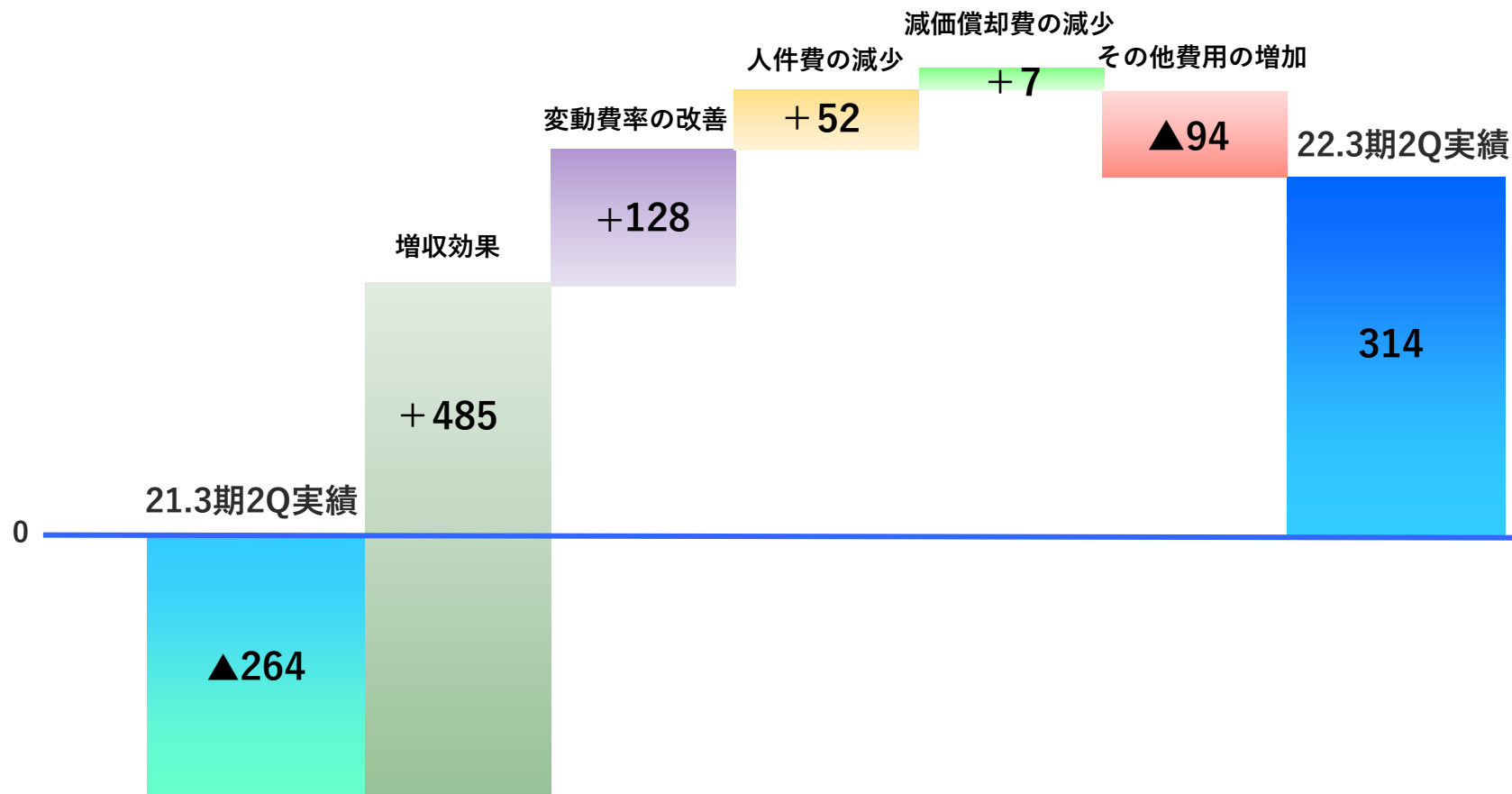
※1 前期(21.3期2Q)は▲264百万円の営業損失

※2 前期(21.3期2Q)は▲8百万円の経常損失

※3 前期(21.3期2Q)は▲15百万円の当期純損失

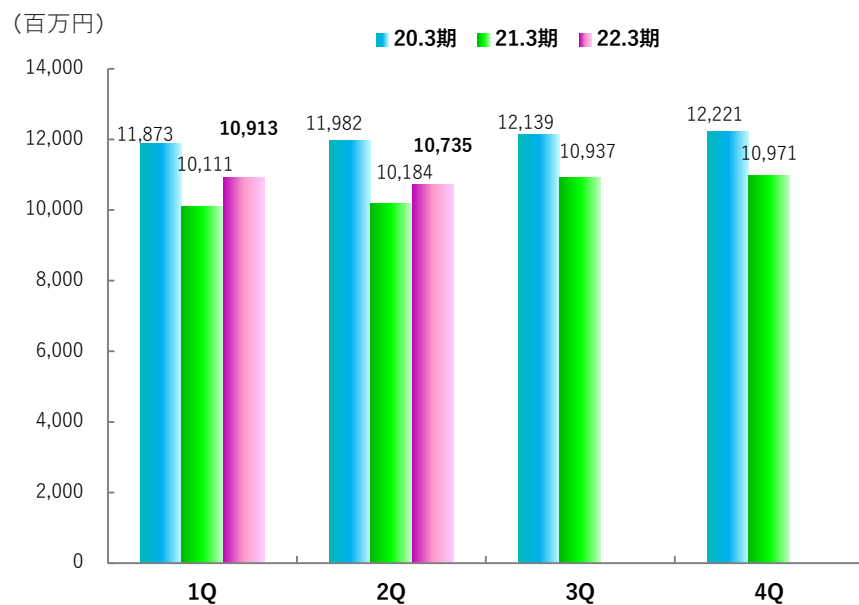
2022年3月期第2四半期の営業利益の増減分析

(単位：百万円)

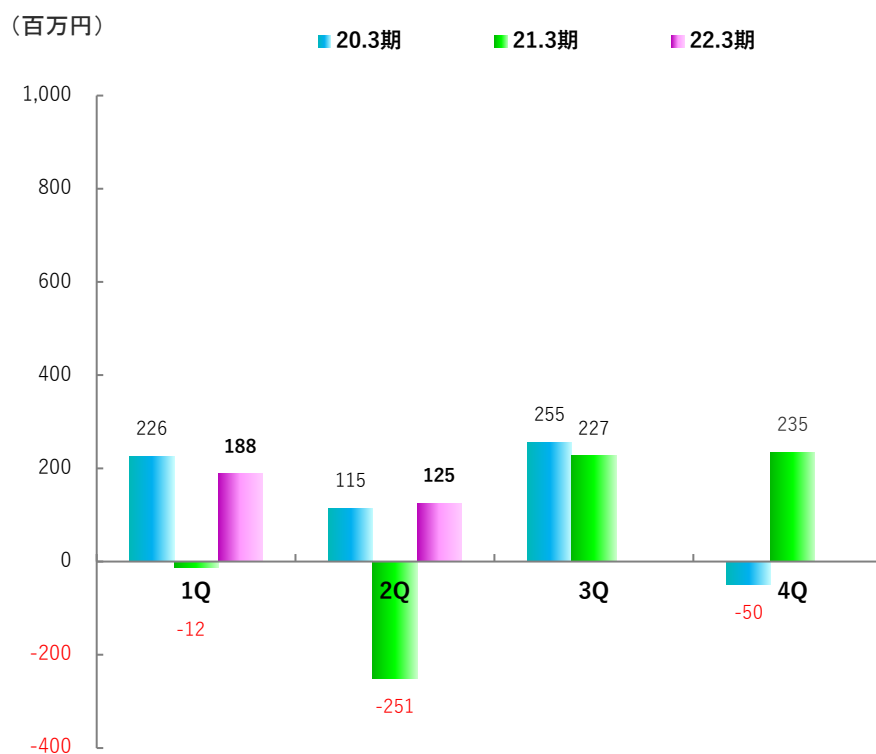


四半期ごとの業績推移

【売上高の推移】



【営業利益の推移】



第2四半期連結貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	20.3期	21.3期	22.3期2Q	増減額	備考
流動資産	33,814	31,161	32,375	1,213	
現金及び預金	9,537	9,361	10,212	850	
売上債権	15,694	13,948	13,847	▲100	
棚卸資産	8,027	7,599	8,001	402	
その他	556	252	313	61	
固定資産	34,135	36,273	37,070	796	
有形固定資産	24,004	23,278	23,252	▲25	
無形固定資産	353	452	459	7	
投資その他の資産	9,777	12,543	13,358	814	
資産合計	67,950	67,435	69,445	2,010	
流動負債	18,991	17,585	18,007	421	
仕入債務	11,333	10,095	9,835	▲259	
短期借入金	5,425	5,306	5,539	232	
固定負債	6,001	5,106	4,118	▲987	
長期借入金	4,038	3,061	2,620	▲440	
退職給付に係る負債	707	243	262	19	
負債合計	24,993	22,691	22,125	▲566	
純資産合計	42,957	44,743	47,319	2,576	
負債・純資産合計	67,950	67,435	69,445	2,010	

連結キャッシュ・フロー	21.3期2Q	22.3期2Q	増減額	参考値(21.3期)	備考
営業CF	808	896	88	3,227	
投資CF	▲907	329	1,237	▲772	
財務CF	▲368	▲628	▲260	▲2,643	
CF四半期末(期末)残高	5,950	7,137	1,187	6,315	

2022年3月期予想

▶ 連結損益計算書（百万円）

	20.3期実績	21.3期実績	22.3期予想	増減率	備考
売上高	48,217	42,205	44,100	4.5%	
売上総利益	8,806	7,818	8,170	4.5%	
	(18.3 %)	(18.5 %)	(18.5 %)	0.0%	
営業利益	546	198	370	86.0%	
	(1.1 %)	(0.5 %)	(0.8 %)	0.3%	
経常利益	1,293	1,088	1,470	35.1%	
	(2.7 %)	(2.6 %)	(3.3 %)	0.7%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	158	1,323	2,350	77.6%	
	(0.3 %)	(3.1 %)	(5.3 %)	2.2%	

▶ 連結売上高の版別内訳（百万円）

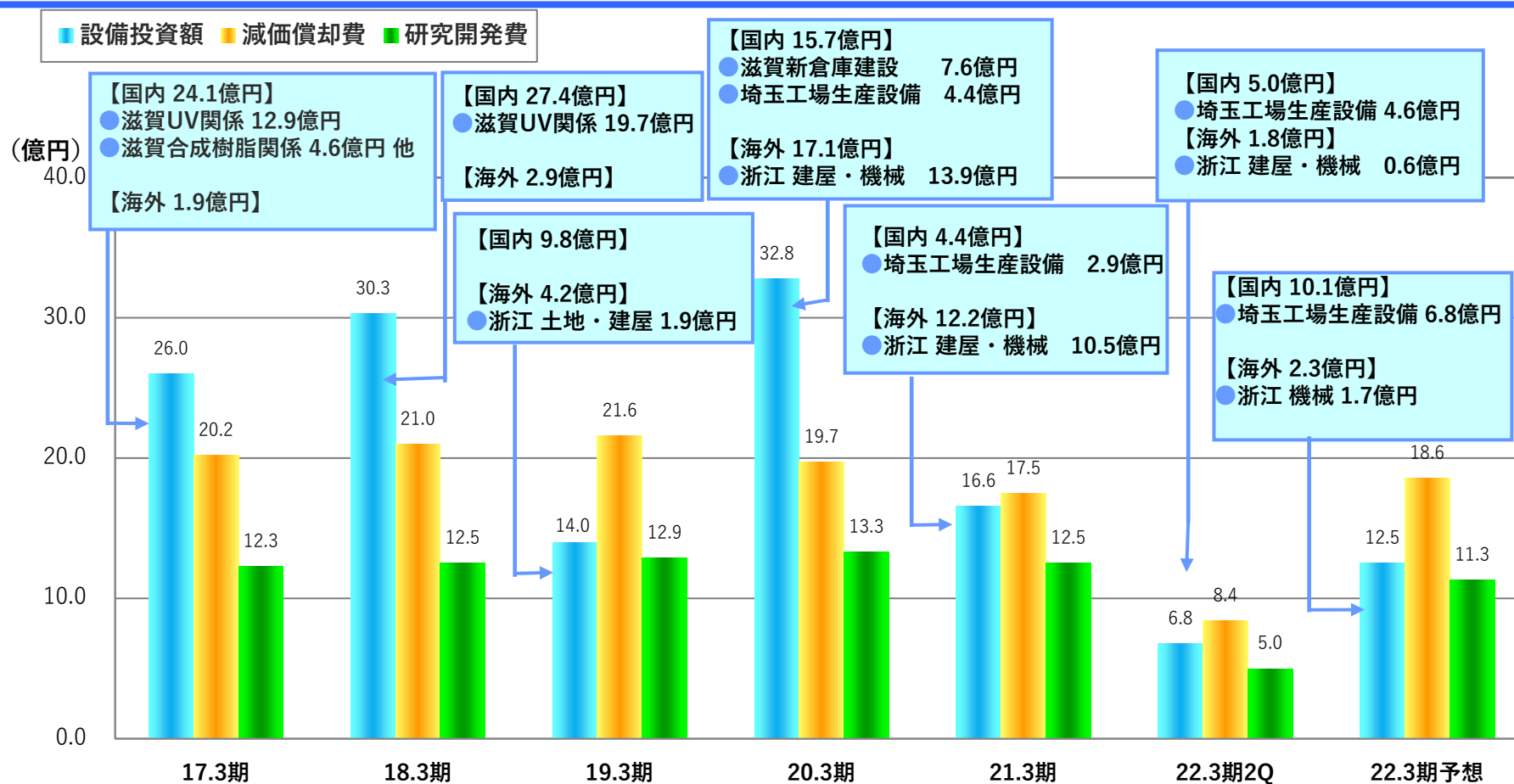
	20.3期実績	21.3期実績	22.3期予想	増減率	備考
UVインキ	20,564	18,796	19,860	5.7%	
平版インキ	11,345	7,494	7,480	▲0.2%	
その他インキ	7,426	7,263	7,050	▲2.9%	
その他	3,356	3,177	3,170	▲0.2%	
製品計	42,694	36,731	37,560	2.3%	
商品	5,523	5,473	6,540	19.5%	
売上高合計	48,217	42,205	44,100	4.5%	

2022年3月期予想

2022年3月期予想

(百万円)	22.3期 予想	21.3期 実績比		
売上高	44,100	+1,894	+4.5%	国内の出版、パッケージのUVインキの需要回復 海外のパッケージ、ラベル、シールのUVインキの 需要回復
営業利益	370	+171	+86.0%	主要原材料の調達環境の悪化に伴い原材料費の 上昇が見込まれる
経常利益	1,470	+381	+35.1%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,350	+1,026	+77.6%	香港の固定資産売却益662百万円 韓国特殊インキの固定資産売却益583百万円 Van Sonオランダ事業整理損180百万円

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

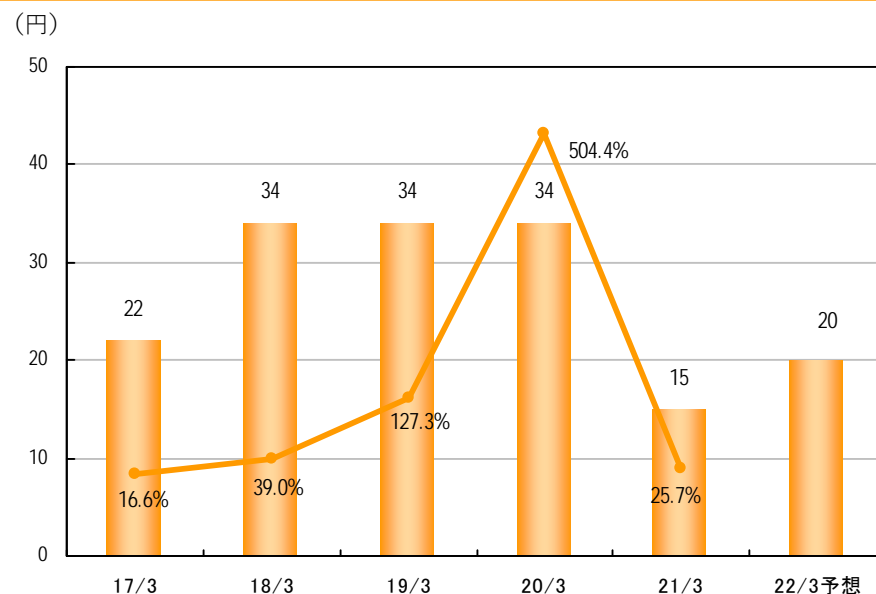


(百万円)	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期2Q	22.3期予想
設備投資	2,604	3,038	1,406	3,287	1,669	682	1,253
減価償却費	2,022	2,106	2,164	1,977	1,755	841	1,860
研究開発費	1,238	1,251	1,292	1,330	1,255	506	1,137

配当について

将来の事業展開に備えた財務体質の強化を図るとともに、業績に応じて安定的な配当の継続を行っていくことを、配当の基本方針としております。
連結配当性向30%を目安に実施していく予定であります。

1株当たりの配当金・連結配当性向 (円、%)



(百万円、千株)	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3予想
配当総額	516	799	799	799	337	450
発行済み株式数	25,023	25,055	25,055	25,055	22,555	22,603

海外子会社のトピック

浙江東華は2021年6月から試生産を開始しました

中国市場への液晶カラーフィルター用
着色剤等ファインケミカル製品の
製造販売

- 2021年6月 試生産開始
- 2021年7月 一部製品の製造販売開始
- 2022年3月 本稼働を予定



2022年度中の子会社清算に向けて準備中です

東華香港は2021年9月までに実質的な活動を全て終了し、法的な清算に向けて手続き中です。2021年9月期末までに全ての固定資産の売却が終わり、2021年9月期は固定資産売却益662百万円を計上しました。

(2021年3月期に東華香港が計上した固定資産売却益は501百万円)

Van Sonオランダの営業活動は2021年12月までに終了する予定です。2021年9月期において、事業整理に関する損失として事業整理損180百万円を計上しました。

なお当該地域の事業を当社および他の連結子会社に移管し、更なる拡販を進めて参ります。

韓国特殊インキ工業株式会社固定資産の譲渡及び特別利益の計上

韓国特殊インキ工業株式会社が所有している分室（営業事務所）について、老朽化に伴う維持費等が増加していることから、経営資源の有効活用と資産効率の向上を図るため、2022年3月期第4四半期連結決算において、固定資産を譲渡し、特別利益として固定資産売却益約583百万円を計上する見通しであります。

この譲渡に伴い、韓国国内に別途、新営業所を開設する予定です。

2022年3月期 下半期の取組

新中期経営計画と下半期の取組

社会及び自社のサステナビリティを巡る課題を踏まえた、2025年3月期を最終年度とする新中期経営計画の策定を進めており、2022年2月の公表を予定しています。

下半期は「**With You toward 2020**」の基本的な経営戦略を継続し、(a)グローバル展開の加速、(b)付加価値訴求の強力推進、(c)コスト削減・効率化の追求を推し進めていく方針であるが、欧州戦略の見直しや新型コロナウイルス感染症の影響による計画の遅延に対するキャッチアップを行いUVインキの拡販及び原価率・販管費率の見直しを中心とした、収益性の早期回復に注力してまいります。

足元の状況

販売面は、印刷インキの需要は新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する以前の水準に戻っていないものの、当社の主力製品であるUVインキは生活必需品向けの用途も多く、新型コロナウイルス感染症によるデジタル化推進の影響は一部に止まっています。調達面においては、コンテナ船不足の影響に加え、中国政府によるCO2排出規制強化の影響等により、特にインキ原材料の安定的調達は大変困難な状態となっており、この状況は長期化する可能性があります。

当社は製品の供給継続を最優先とする方針であり、原材料価格の上昇分については需要家の理解のもと販売価格への転嫁を確実に行ってまいります。

東証再編に向けて

T&K TOKAはプライム市場を選択します

新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果、「流通株式数」「流通株式時価総額」「流通株式比率」の各項目については、プライム市場の上場維持基準を充たしている一方で、「売買代金」については、当該基準を充たしていない旨の通知を受けました。

項目	上場維持基準	判定結果
流通株式数	20,000単位以上	適合
流通株式時価総額	100億円以上	適合
流通株式比率	35%以上	適合
売買代金	平均売買代金0.2億円以上	不適合

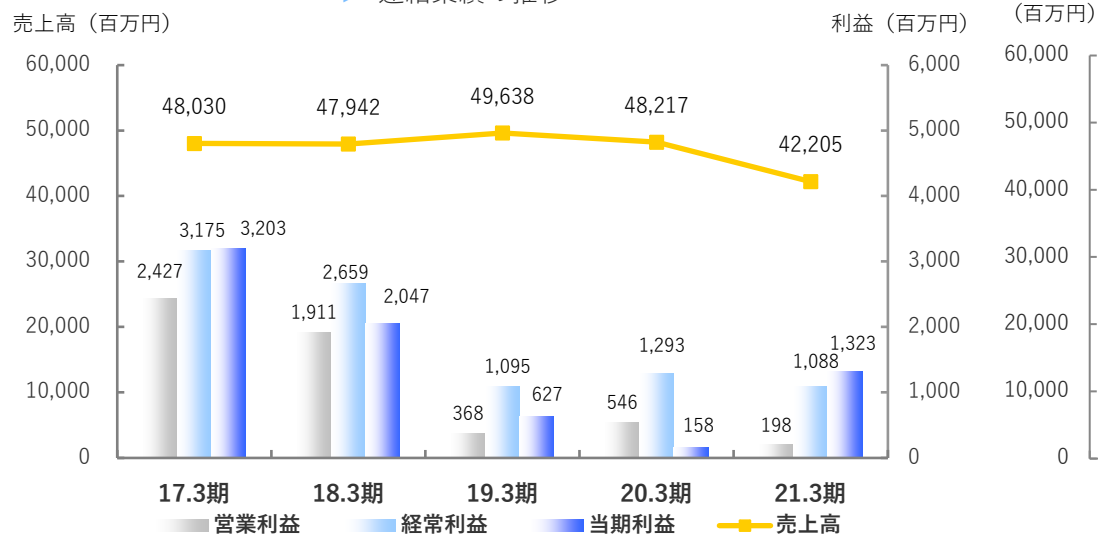
プライム市場上場維持基準充足に向けた取り組み

当社は、プライム市場の全ての基準の充足を目指し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の取り組みと併せ、IR活動の推進・強化、投資者向けの情報発信の充実にに向けた施策等の実施に努めて参ります。

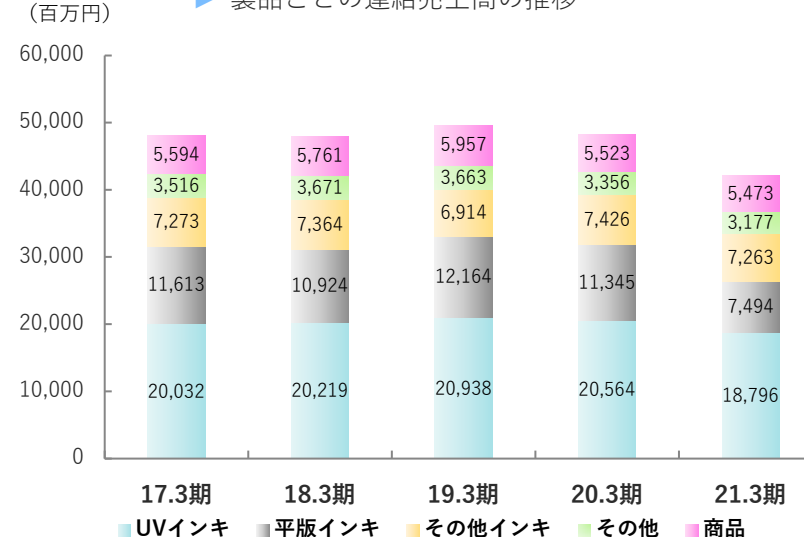
プライム市場の上場維持基準充足に向けた具体的な計画・取り組みにつきましては、2021年12月30日までに株式会社東京証券取引所へ提出を予定している「上場維持基準の適合に向けた計画書」を通じてお知らせする予定です。

業績推移

▶ 連結業績の推移



▶ 製品ごとの連結売上高の推移

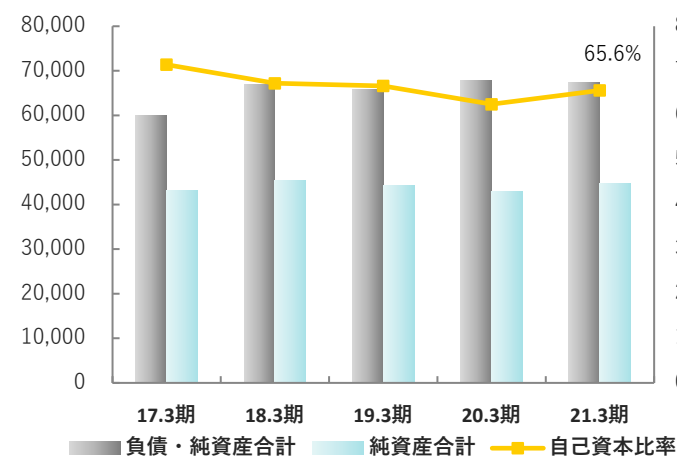


▶ 地域ごとの連結売上高の推移 相殺消去前 (百万円)

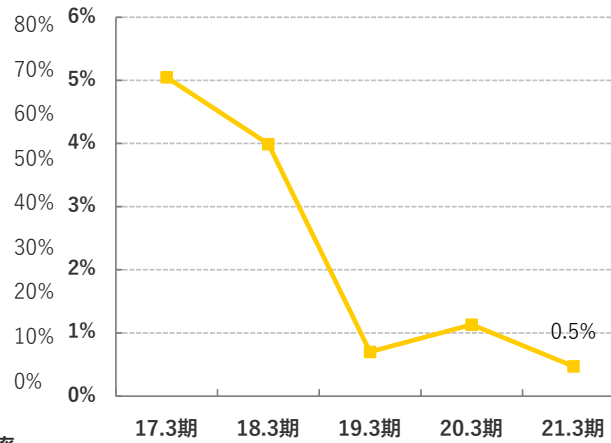
	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
日本	36,450	36,627	35,906	33,864	28,742
アジア	14,223	14,132	14,324	13,621	11,103
その他地域	2,343	2,083	4,737	7,117	7,350
北米	1,432	1,219	2,857	5,155	4,531
欧州	363	473	1,086	1,306	2,137
中南米	207	116	306	164	274
オセアニア	177	181	265	184	221
中東	162	91	117	218	95
アフリカ	0	0	104	88	90

経営指標

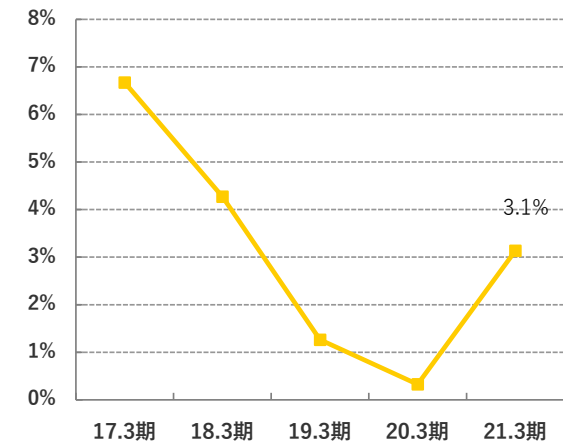
▶ 総資産、純資産、自己資本比率の推移（連結）



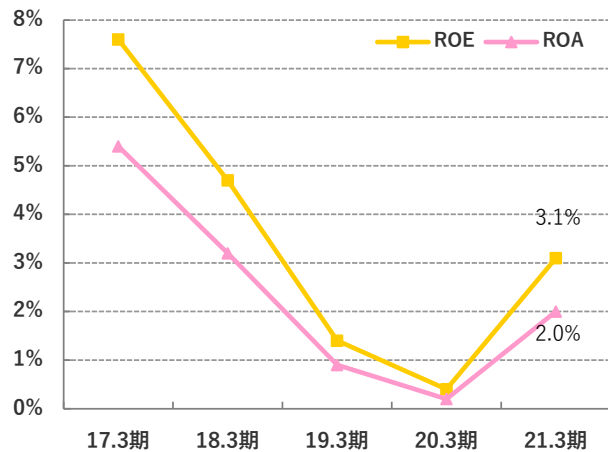
▶ 売上高営業利益率（連結）



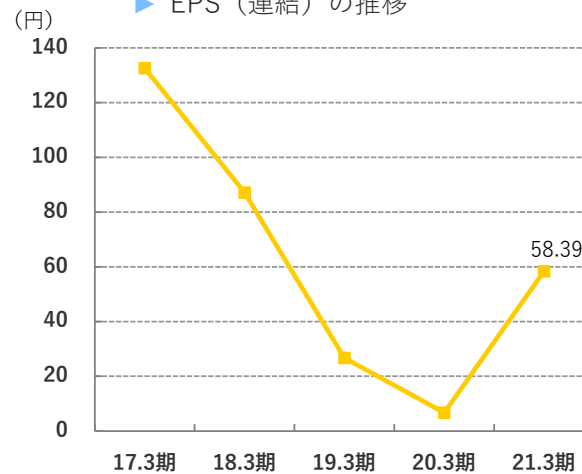
▶ 売上高当期純利益率（連結）



▶ ROE、ROAの推移（連結）

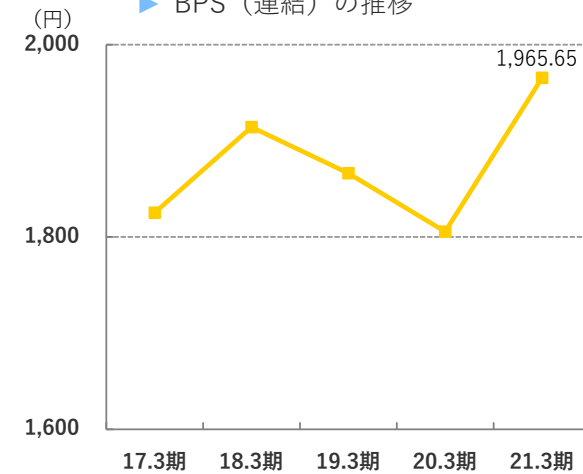


▶ EPS（連結）の推移



EPS…一株当たり当期純利益

▶ BPS（連結）の推移



BPS…一株当たり当期純資産

サステナビリティへの取り組み

● T&K TOKAグループのステークホルダー



企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、ステークホルダーと建設的な対話を行うことで、長期的な企業価値の向上を図っています。

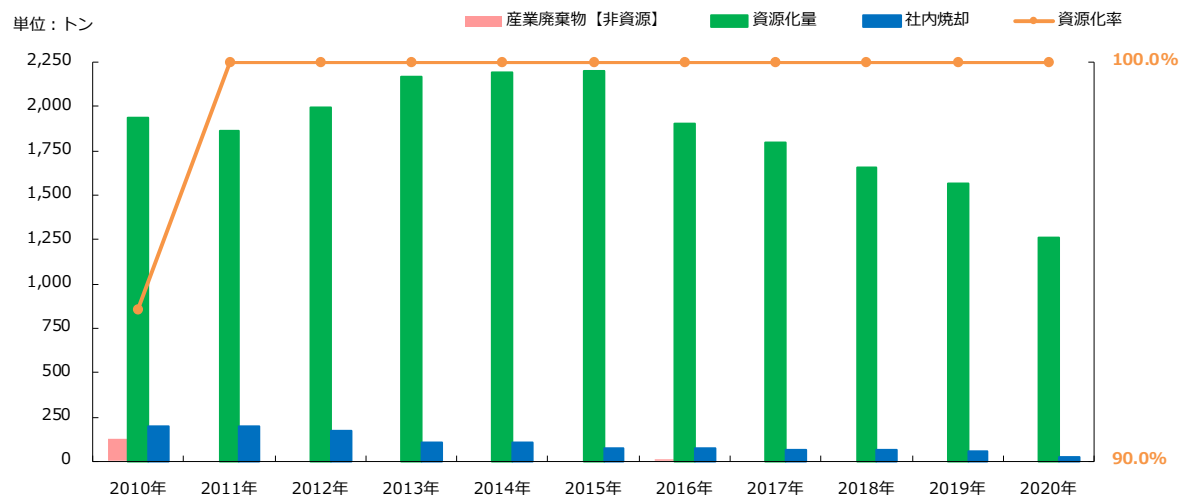
環境性能に優れたインキで印刷業界のニーズに応えるとともに、働きがいのある職場づくり、地域社会との共存など、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた経営を通して持続可能な社会づくりに貢献していきます。



資源の有効利用・廃棄物削減の取り組み

SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」にも積極的に取り組み、インキを製造する過程においても資源の有効利用や3R（リデュース、リユース、リサイクル）など徹底し、ものづくりを行っております。これらの一環として、容器、包装材の削減（リンクドラムや通いコンテナの利用、包装材の簡素化等）や原料ロスの低減、プラスチックパレットはリユース、段ボールや事務所より排出される紙類はリサイクル、また、その他廃棄物についても有価物化への転換に取り組んでおります。

結果、埼玉事業所はゼロエミッションを達成、今後もその維持を目標に取り組んでおります。



単位：トン	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
産業廃棄物【非資源】	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物【資源化】	864	748	785	756	819	855	689	586	552	520	480
社内リサイクル	458	478	561	780	756	768	662	661	616	494	269
有価物	614	636	651	628	618	572	548	547	486	550	510
資源化量	1,935	1,862	1,997	2,164	2,192	2,195	1,899	1,794	1,654	1,564	1,259
社内焼却	197	200	171	102	103	73	69	66	66	53	26
不要物	2,260	2,061	2,168	2,266	2,296	2,268	1,969	1,860	1,720	1,617	1,286
資源化率	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

製品概要

UVインキ

UV（紫外線:Ultra Violet）の照射により瞬時に乾燥するインキです。紙・フィルム・PETなど様々なものに印刷でき、紙パッケージ・食品包装材・ラベル・クリアファイルなど多様な用途があります。

平版インキ

平版印刷（オフセット印刷）のためのインキで、書籍・チラシなどの出版物の印刷に広く用いられます。

その他インキ

上記以外のインキです。フィルム等の軟包装材などを印刷する凹版印刷（グラビア印刷）のためのグラビアインキや、飲料缶などのための金属インキなどです。

その他

機能性樹脂などの、その他の製品です。機能性樹脂は、自動車や船舶の塗料、橋梁・道路などの土木建築用接着剤、半導体など電子部品の接着剤などに用いる合成樹脂です。

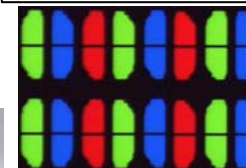
商品

他社製の印刷機や印刷関連資材などの仕入販売による売上です。

充填中



液晶カラーフィルター
(色列の幅は約1mm)



UV印刷の使用例



グラビア印刷の使用例



大型印刷機



合成樹脂の原料



Technology and Kindness

経営理念

「独自のテクノロジー」で「お客様にとって真によいもの」を提供し、社会に貢献する

2030年ビジョン

個人と組織が共に成長し、社会から信頼されるグローバル企業となる

経営の基本方針

1. お客様起点で考え行動し、価値を創造する
2. 自ら成長に努力する社員を支援し、成果を公正に評価する
3. 事業活動を通じて社会課題を解決する

T&K TOKAは、創業から70年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は70年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。チャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

IRの問合せ先
株式会社 T&K TOKA 財務部
Tel 03-3963-0511
Mail ir.tk@toka-global.com

T&K TOKA®